賛否の公表

賛否がわかれた議案等についてのみ掲載しています。

	議案名
請願第２号	教職員定数改善・義務教育費国庫負担制度２分の１復元をはかるための、2023年度政府予算に係る意見書採択の要請に関する請願について
発議案第６号	教職員定数の改善を求める意見書について

議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
議員氏名	小松正真	佐々木恵美子	菊池浩士	佐々木敦緒	佐々木僚平	小林立栄	菊池美也	萩野幸弘	瀧本孝一	多田勉	菊池由紀夫	菊池巳喜男	照井文雄	荒川栄悦	安部重幸	新田勝見	佐々木大三郎
請願第２号	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議案第６号	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※議長は採決に加わりません。○は賛成、●は反対。－は棄権となります。
審議結果は、遠野市ホームページで確認することができます。　遠野市議会 ９月定例会 審議結果　検索

決算特別委員会

決算特別委員会（議長を除く17人の議員で構成、委員長瀧本孝一議員、副委員長小林立栄議員）は、決算８件について付託を受け、審査を行いました。

今委員会では、令和３年度の事業成果等について活発な質疑答弁を交わしました。その結果、全８議案を原案のとおり可決・認定しました。

マイナンバーカードとは

問　今までトラブルはなかったか。

答　８月末現在、32.4％の普及率であるがトラブルは確認されていない。

問　マイナンバーカード作成について。

答　今まで市内各地区センター、とぴあ庁舎などで「出張サポート」を行った。今後もカード交付に関することは、とぴあ庁舎の総務課、市民課で手続きを支援している。

※マイナポイントの申請の仕方がわからない方は、とぴあ庁舎の市総務課（マイナンバーカード総合窓口）で手続きを支援しています。

問　個人情報の持ち出しや漏洩など安全性について。

答　個人情報を見るには暗証番号が必要。二重三重のセキュリティがかかっていて抜き出すことは不可能である。

問　マイナポイントの使い方は。

答　キャッシュレス決済サービス（電子マネーやクレジットカードなど）のポイントとしてスーパーや薬局、コンビニなどで利用できる。

マイナンバーカードの基礎情報

◆マイナンバー（個人番号）

国民一人一つ割り振られた12桁の番号を使って国民の暮らしの利便性を高めていこうとしているもの。

◆マイナンバーカード（個人番号カード）

ＩＣチップ付きのカードで、顔写真とマイナンバー、氏名、住所、生年月日などが表示される。

◆現在の主な用途

1．本人確認書類

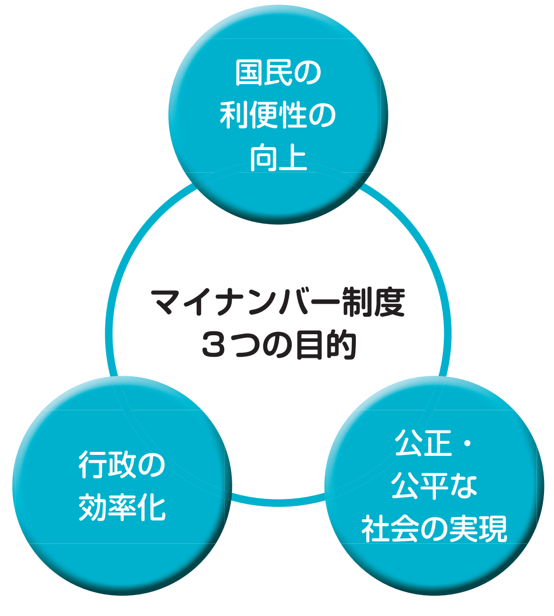
2．健康保険証（マイナンバー対応医療機関、薬局は順次拡大中）

3．「公金受取口座」登録で給付金などの受け取り手続きが省略できる。

4．※マイナポータルが利用できる

※マイナポータルとは

カードとスマートフォンやパソコンなどの情報通信機器を使うことで子育てや介護などの行政手続きの検索、オンライン申請などを行うことができるサービス。



堆肥センターでの生産拡大は

問　堆肥センターの３年度の実績は。

答　受け入れが2,674t、販売1,704tとなっている。

問　売れ残りはないか。

答　秋に受け入れを行い、春から販売するが、残ったものは翌年度売ることになる。

問　堆肥センターの最大基準量は。

答　生産は年間4,000t。

問　受け入れ堆肥が少ないから基準量に満たないのか。

答　畜産農家が減っているので受け入れは少なくなり、販売量も減少する。

問　肥料の高騰が農家の打撃となっている。受け入れ数を増やす対策はしているか。

答　受け入れ料金は１t当たり990円で、15戸の農家から受け入れを行い、763件販売している。

問　堆肥センターの処理量を最大限にして販売量も増やしていくべきと思うが。

答　今協議中だが、各地区の土づくりセンター等連携しながら生産量を増やしていく。

生産拡大が期待される堆肥センター

乗用馬市場の様子

遠野が考える馬事振興とは

問　令和３年度の馬の生産頭数が、18頭の目標に対して28頭。生産者の高齢化等の課題が改善された結果によるものか。

答　乗用馬の生産状況は変わっていない。農用馬の生産頭数が増えたことによるもの。農用馬の生産は、若い生産者もおり元気が良くなってきた。

問　乗用馬市場では、１歳馬で売りたいが売れない現状があるため、２～３年間、調教をして付加価値をつけて売りたいが、その間は売上が入らない。支援が必要ではないか。

答　育成調教する期間の経費が、セリでの販売価格に反映されていない実態がある。販売先である各乗馬クラブでは、馬が飽和状態となっており、乗用馬市場での需要も見通せない現状である。

問　馬事振興ビジョンで目指す姿がわかりにくい。今後の取り組みは。

答　競走馬部門での収益を、乗用馬育成、ホースパーク部門に充てていく構造だったが、大きく崩れている。生産育成する馬についても、競技馬かレジャーホースか、乗用馬か農用馬かと考えに違いがある。馬の里は何の為の施設なのか、生産者が何を望むのか、初心に立ち返り、民間の理事長も入れて真摯に議論を進めていく。

除排雪の対応について

問　除雪が遅いとの市民の声、委託している業者の数は。

答　土木業者の数が年々減っており現在17社に対応いただいている。

問　事業の縮小がやむを得なくなり、除雪作業ができない会社があると聞くが。

答　１社から除雪に従事できなくなったとの連絡があった。

問　除雪業者が減ることは、他の業者がその路線まで対応することになる、遅れの心配はないか。

答　事業者と連携しながら、きっちり対応したい。

問　公共工事等が減少している現実は、会社経営に影響を及ぼし、自社で除雪機械を保有